クラシック音楽の
正しい鑑賞法
■12■

ベートーヴェンの「不滅の恋人」

ピアニスト・北海道教育大学岩見沢校准教授
深井　尚子

このシリーズも、今月で最終回となりました。クラシック音楽は、難しいというイメージを持たれていた方たちが、作曲家のエピソードや楽曲の成り立ちなどをお話したことで、少しクラシック音楽に親しんでいただけましたでしょうか。

最終回の今月は、やはり、私の得意分野のベートーヴェンの「不滅の恋人」のことをお話ししましょう。ベートーヴェンが亡くなった時、ベッドわきの小物入れの引出しから3通の恋文が発見されました。その手紙は、たいへん情熱的で、当時42歳だったベートーヴェンの恋の苦悩が書かれていました。最初の文章は、「私の天使、私のすべて、私自身よ」というもので、その女性に心から愛情を感じていることがわかります。その3通目の手紙の呼びかけに、〝我が不滅の恋人よ〟とあることから、不滅の恋人が誰なのかという、ベートーヴェン研究者たちの追跡が始まりました。

この3通の手紙には、日付と曜日が書かれていますが、年代がありませんでした。まず、手紙の内容と照らし合わせながら、曜日と日付が合致する年代があぶりだされます。その結果、1812年7月6日（月曜日）に2通、7月7日（火曜日）に1通が書かれたことがわかりました。それも、ウィーンではなく、貴族たちの保養地であったチェコのテプリッツという温泉町に滞在していた時の手紙ということがわかりました。音楽学者は、文献研究を徹底的に行うため、この不滅の恋人への手紙から、当時の警察の滞在証明書を調べ、ベートーヴェンが確かにその年、その日付にテプリッツに居たことを突き止めました。

それまでも、ベートーヴェンには、親しくしていた貴族の令嬢や未亡人がいましたので、その中の誰か、例えば、テレーゼ・ブルンスヴィックやその妹のヨゼフィーヌなどが、当初、不滅の恋人の候補になっていましたが、現在は、その可能性はないといわれています。

では、誰が不滅の恋人なのか。その謎を詳細な検証から突き止めたのは、まず、音楽学者、メイナード・ソロモンでしたが、日本のノンフィクション作家の青木やよひさんがその事実を一つ一つ確認し、彼女の著書に克明に書いています。その不滅の恋人は、アントーニエ・ブレンターノで、彼女はその時、裕福な商人フランツ・ブレンターノと結婚しており、ベートーヴェンとは、いわゆる不倫の関係だったのです。アントーニエと夫は不仲で、その手紙が書かれた1812年、やはり、ベートーヴェンがいたテプリッツ近くの保養地にいたこともわかっています。今は、不滅の恋人は、アントーニエ・ブレンターノと言われています。

しかし、この不滅の恋人への熱烈な恋文は、ベートーヴェンの手元で発見されました。つまり、この手紙は出されなかったか、送り返されたかということです。ベートーヴェンは、この手紙を書いたころ、音楽的なスランプに陥っていた時期でした。1812年から数年は、あまりよい作品を書いていません。それは、この失恋も原因の一つであると推測できます。

最終回は、ベートーヴェンの人生最大の恋のお話をしました。不滅の恋人には、もう少し、トピックがあるのですが、紙面がつきました。

またの機会に。

来月からは、また新しいテーマでお目にかかりましょう。

市民随想

「青い山脈」とラブレター②

岩見沢　奥村　正文

映画「青い山脈」は偽のしかも誤字だらけのラブレターが女学生に送られて物語は展開する。「変しい変しい変人新子様、脳んで…」で始まるラブレターには笑った。恋が変などと巧みに計算された誤字は、石坂洋次郎が女学校の教師だったから考えついたのかもしれない。

映画の中で旧制高校の寮に新子が招かれたとき、我先にと寮生が部屋に食べ物を持参して押しかけ大騒ぎする場面があったが、私が入った大学の恵迪寮でも同じようなことがあった。まだ蛮からな気風が残っている寮に滅多に見ることのない女性が訪れると、用もないのに寮生が次々と部屋をノックし顔を見に行ったのを思い出した。

その恵迪寮で年に1度開かれる寮祭で演劇や催しが公開されるなかに寮生に来たラブレターを展示した部屋があった。名前は墨で消し達筆なペン字や毛筆のものから長い手紙など多彩でその内容の深さに感心し羨ましくも思いそして大人なのに驚いた。

そのころ友人に頼まれ気が乗らなかったが戦後離農し札幌に出てアパートを経営している家の家庭教師をしたことがあった。何回か通った後に真っ赤な口紅をつけばけばしい女性から手紙を訳してくれと缶に入ったビールを渡された。隣のアパートにいるオンリーで、朝鮮戦争が始まり朝鮮へ出兵しているアメリカ兵からの手紙だった。ラブレターはみんなで想像を膨らましワイワイいいながら読んだ。きれいな英語で会いたいとか愛しているなどと月並みなことが書かれていた。ただ女の黒髪に執着しているようで何度も撫でていったとか顔を埋めたいとか書いてあった。また前線で戦っている最中なのか滝を上ろうともまた会いたいなどと、浪曲にもあるたとえ火の中水の中と同じなのに驚いた。

次に家庭教師に行くと別なオンリーからも手紙を訳してと100円をくれた。その後何度か頼まれたがそれが通例となった。当時家庭教師が週2回で1000円、道庁のアルバイトが240円で、100円はありがたかった。ラブレターには読みづらいものや辞書にもない単語や、スペルの間違っているものもなかにあった。帯広の寮に帰るとアメリカ兵からのラブレターと初めて見る缶に入ったビールとあって部屋に数人が集まった。みんなでビールを分けて水薬のように飲んだが生ぬるく期待を裏切り美味しいとはいえなかった。まだ蛮からな気風が残っている寮に滅多に見ることのない女性が訪れると、用もないのに寮生が次々と部屋をノックし顔を見に行ったのを思い出した。

その恵迪寮で年に1度開かれる寮祭で演劇や催しが公開されるなかに寮生に来たラブレターを展示した部屋があった。名前は墨で消し達筆なペン字や毛筆のものから長い手紙など多彩でその内容の深さに感心し羨ましくも思いそして大人なのに驚いた。

そのころ友人に頼まれ気が乗らなかったが戦後離農し札幌に出てアパートを経営している家の家庭教師をしたことがあった。何回か通った後に真っ赤な口紅をつけばけばしい女性から手紙を訳してくれと缶に入ったビールを渡された。隣のアパートにいるオンリーで、朝鮮戦争が始まり朝鮮へ出兵しているアメリカ兵からの手紙だった。ラブレターはみんなで想像を膨らましワイワイいいながら読んだ。きれいな英語で会いたいとか愛しているなどと月並みなことが書かれていた。ただ女の黒髪に執着しているようで何度も撫でていったとか顔を埋めたいとか書いてあった。また前線で戦っている最中なのか滝を上ろうともまた会いたいなどと、浪曲にもあるたとえ火の中水の中と同じなのに驚いた。

次に家庭教師に行くと別なオンリーからも手紙を訳してと100円をくれた。その後何度か頼まれたがそれが通例となった。当時家庭教師が週2回で1000円、道庁のアルバイトが240円で、100円はありがたかった。ラブレターには読みづらいものや辞書にもない単語や、スペルの間違っているものもなかにあった。帯広の女学校を出ているというオンリーから返事を書いてと頼まれたことがあったが、幸い短い簡単な手紙だった。間もなく家庭教師をやめるとそのアルバイトもなくなった。

卒業して間もなく共学だった高校の同級生からラブレターらしき手紙をもらったことがあった。返事を出したのは覚えているがその後の詳しいことは思い出せないでいる。

原節子も池辺良も亡くなり時代は変わったが、明るいハイテンポな「青い山脈」の歌を聞くと溌溂とサイクリングしている映像が頭の中に浮かんでくる。

郷土文芸

浦臼短歌会

節分に蕎麦の言われはどこからか小首かしげて手打ちソバ食む　井下　隼子

パソコンで夜更かしをして詩を作るタイトルいっぱい悩むことなし　玄地　祐文

名も知らぬ花の満開部屋に咲く冬の寒さも知らずおるらし　斎藤　陽子

冬木立百い花咲く雪の花夕焼け空がかがやいている　曽根　郁代

何ひとつ心たらしむ事もなく百六歳の年を迎えり　鈴木　千代

西の方沸き立つ白き雲ありてぬくき日ざしに早も立春　本間マキ子

惜しまれて逝きし人あり斎場に哀愁満ちし御詠歌流るる　森　一喜

いきてるか　生きているかと声かける夫は長湯の吾を案じて　森　小夜子

入院し主人の居ない幾日を何か足りない部屋も心も　和田　トメ

花林短歌会滝川支部

白石に向ひ車を走らせる水源地通りの丘橋のぼる

凍てついたガトーショコラのやうな夜一人ぽっちのドライブも好き　小島　邦子

歳かさね石橋ったく時となりエンジョイしつつ日々を過ごさう

午後の陽に風花の舞ふ庭眺め春の香りに心はづめり　西澤菜句代

国後へ虹のかけ橋思いしが雲行き悪しく青空見えず

年賀状来年の控え数多く終活の波ひたひた寄する　石山　キエ

温泉宿の小暗き場所に何枚かあるピンポン台は愛の架け橋

チョコレート一粒母の口に入れ新聞読み合ふ病室の午後　貝森久仁子

幼き日隣り街まで橋越えて我の通院亡き父に感謝

亡き母の着類手に取り株と想い出語りて仕分け進まず　土居美恵子

我れよりも若き友なり橋さんよいつも多くの希望もらひて

雪祭り最終の日にバスに乗る補助席までも満席となり　大江ミヨ子

＝中空知＝

陽彩随筆

「港が見える丘」

小林　英輔

東辰三が作詞・作曲し、平野愛子の昭和二十二年のデビュー曲「港が見える丘」は、僕にとってはわけの分からない不思議な歌に思える。

お互いに惹かれ合ったばかりの若い二人が港の見える丘に登るともなれば、手に手を取り合い、胸をときめかせ、満開の桜を見上げては、お互いの愛のさかりを確認しあうかのように、頬と頬を寄せ合うことが、当然のなりゆきだろう。そんな高揚感はどこふく風。それはかりか、桜が満開どころでなく、「色あせた桜唯一つ淋しく咲いていた」。しかも、「船の汽笛がむせび鳴いているかのように響き渡っていた」という。手の施しようもないほどの哀愁と陰鬱の添景だ。

その上、「チラリホラリと花片／あなたと私に降りかかる」というのだから、あたかも丘の上の墓場に幽霊のようにたたずむしだれ桜の下に、男女の朽ち始めた屍体の上に花片がはらはらと降りかかっている。―そんな地獄絵にあるような情景を思い起こす。すると、恋の歌ではなく、ご詠歌の一節ではないかと思えてくる。

二番も、三番も哀愁と陰鬱の基調には変わりはない。二番では幽界に咲く夜桜の寂寞な光景がひろがり、三番では桜は散って葉桜のころ、丘じゅうに陰々と響き渡る船の汽笛を聴きながら、最初に出会った相手の面影を偲んでいる。それが亡霊の哀しみをたたえた微笑みのようだったというのだから何をかいわんやだ。

作品全体を見渡すと、丘・港・汽笛・むせび泣き・花片・淋しい・くらい夜・涙・淡い夢と、恋愛のハッピイな相は全く影を潜め、哀愁・郷愁・別離・寂寞などを意味する象徴語だけが並んでいる。

現代の人にとって、恋愛はとっても楽しいもので、恋することを望み、憧れもする。ポジティブな心情で表現されることが普通だ。ところが、この楽曲の作詞者は恋する気持ちのベクトルを辛い・苦しい・はかないといったネガティブな方向にむけた。

いわば、恋の無常感を歌い上げたわけだ。

本ベスト10

喜久屋書店岩見沢店（6／12～6／18）

単行本

①うんこ漢字ドリル 小学４年生他　（文響社）
②多動力　堀江貴文（幻冬舎）
③1日1分見るだけで目がよくなる…　林田康隆（アスコム）
④がん消滅の罠 完全寛解の謎　岩木一麻（宝島社）
⑤肺炎がいやなら、のどを鍛えなさい　西山耕一郎（飛鳥新社）
⑥儒教に支配された中国人と韓国人の悲劇　K. ギルバート（講談社）
⑦九十歳。何がめでたい　佐藤愛子（小学館）
⑧増山超能力師大戦争　誉田哲也（文藝春秋）
⑨シルバー川柳―笑青春編　みやぎシルバーネット（河出書房新社）
⑩素敵な日本人 東野圭吾短編集　東野圭吾（光文社）

「うんこ漢字ドリル」
売上１位を継続中

文庫本

①君の膵臓をたべたい　住野よる（双葉社）
②因果 百万石の留守居役９　上田秀人（講談社）
③隠密味見方同心８ ふふふの麩　風野真知雄（講談社）
④完本密命 24 切羽潰し合い中山道　佐伯泰英（祥伝社）
⑤ケモノの城　誉田哲也（双葉社）
⑥真夜中のパン屋さん 午前５時の朝告鳥　大沼紀子（ポプラ社）
⑦２２年目の告白―私が殺人犯です―　浜口倫太郎（講談社）
⑧にらみ 新・古着屋総兵衛 14　佐伯泰英（新潮社）
⑨検察側の罪人㊤　雫井脩介（文藝春秋）
⑩侠客２ 拵屋銀次郎半畳記　門田泰明（徳間書店）

岩見沢市のお医者さんガイド

内科・循環器科・消化器科・呼吸器科
竹内内科循環器科
院長　竹内　宏（日本循環器学会認定循環器専門医）
副院長　竹内　裕（日本消化器病学会認定消化器病専門医）（日本呼吸器学会認定呼吸器病専門医）
診療時間　月・火・木・金／9:00–12:00　13:30–17:30　水・土／9:00–12:00　日曜・祝日／休診
岩見沢市美園５条３丁目 TEL(0126)22-2273
http://takeuchiclinic.jimdo.com

内科・消化器科　医療法人社団
竹内医院
院長　竹内　文英
岩見沢市６条西２丁目
☎22-0134(代)

精神科・内科
アルコール専門外来・医療相談室有
医療法人　恵仁会
空知病院
診療時間／月～金 9:00～17:00　土 9:00～12:00
休診日／日曜・祝日・第2、4土曜日
岩見沢市大和１条８丁目１番地
☎(0126)22-2072

内科・呼吸器科
小玉内科
院長　小玉　道郎
岩見沢市２条東１丁目
☎22-0473

●整形外科　●リハビリテーション科
医療法人社団
倉増整形外科
理事長　倉増　秀昭
岩見沢市２条西７丁目
☎22-0288

産科・婦人科
岩見沢レディースクリニック
院長　岡田　匡弘
岩見沢市８条西19丁目
☎23-2222

医療法人　柏葉会
みしま歯科医院
理事長　三嶋　顕
院長　三嶋　直之
７条院　岩見沢市７西５　☎23-7733
栗沢院　栗沢町本町109　☎45-2277

石塚内科医院
院長　石塚　竜哉
診療時間
月・火・水・金　午前 9:00～12:00　午後 1:30～6:00
木・土　午前 9:00～12:00
お昼休み　午後 12:00～1:30
休診日　日曜日・祝日
岩見沢市5条東11丁目
☎22-1718

はなだ皮膚科クリニック
院長　花田　二郎
診療時間
月・火・木・金　9:30～18:00
土　9:30～12:30
お昼休み　12:00～2:00
休診日　水曜・日曜・祝日
住所　岩見沢市３条西４丁目４
患者さん専用駐車場あり
☎24-8624

鳩が丘歯科クリニック
院長　山田　直樹
URL　http://www.hatogaoka-dc.jp/
岩見沢市鳩が丘３丁目１-７
☎0126-24-8418

整形外科・リハビリテーション科
ごうだ整形外科
代表　合田　猛俊
診療時間
月・火・木・金　午前 9:00～12:00　午後 14:00～17:00
水　午前 9:00～12:00
休診日　水曜午後・土・日曜・祝日
岩見沢市大和3条9丁目16番
☎0126-32-5050

医療法人
萌佑会
理事長　森本　繁文
ホームページ http://iwamizawanouge.com/
脳神経外科・リハビリテーション科／脳ドック（予約制）
岩見沢脳神経外科
岩見沢市８条西19丁目８－６（７条通り）
☎(0126)20-1001
介護老人保健施設　ゆあみーる
岩見沢市８条西19丁目８－１
☎(0126)20-2311

内科・循環器科
松藤医院
日本循環器学会認定循環器専門医　南　俊郎　院長　南　弥生
岩見沢市２条西４丁目
☎（外来）22-3251

医療法人社団
中村耳鼻咽喉科・呼吸器科
理事長　中村　興治
院長　中村　義敬
副院長　中村佳成子
岩見沢市３条西５丁目
☎0126-22-3321